

東日本大震災



いわき市 復興の あゆみ

2
0
1
4



いわき市

はじめに



力強い復興と再生の槌音

いわき市長 清水 敏 男

平成23(2011)年3月11日の「東日本大震災」から4年が経ちました。

この間、いわき市は大地震・津波災害の対応や原子力発電所事故に伴う風評被害などの困難を乗り越えるため、国内外の皆さまからいただいた多くのご支援と励ましに支えられながら、市民・関係各位が一丸となって復旧・復興に取り組んで参りました。

あらためて、これまでのご支援や温かいお言葉などに深く感謝を申し上げます。

震災から3年目のいわき市においては、「防災集団移転促進事業」について、市内4地区の住宅団地の整備がすべて完了し、住宅の再建が可能となる段階まで進ちよくとともに、「災害公営住宅整備事業」についても、平成27年度中に1,513戸の住宅すべてが入居可能予定となるなど、復興関連事業が着実に前進しております。「震災復興土地区画整理事業」についても、関係各位の協力の下に急ピッチで宅地造成工事を進めており、復興・再生への歩みが加速して参りました。こうしたハード面の整備に加え、各支所などに配置した津波被災地支援員などによるきめ細かい生活再建の支援にも努めています。

さて、去年は、「平成25年度文化庁長官表彰(文化芸術創造都市部門)」を受賞したほか、プロ野球公式戦「巨人対ヤクルト戦」や「いわき市復興祈願土俵入り」の開催、また、映画「超高速！参勤交代」の大ヒットなど、これらの明るい出来事は、復興の大きな弾みになっているものと確信しております。

この『東日本大震災・いわき市復興のあゆみ』は、震災から3年が経過した平成26年(2014)における「ふるさといわき」のさまざまな復興状況を、市民の皆さまにお知らせするために発行した冊子です。紙面が限られていますが、復興の状況をご理解いただければ幸いです。

平成27年度は、市復興ビジョンに掲げる復興期の最終年度にあたりますことから、引き続き、「ふるさといわきの力強い復興と再生の実現」に向けて、復興事業計画に位置付けた各種事業を着実に推進して参ります。

加えて、文化・芸術・スポーツなどによる交流や触れ合いの機会を創出し、市民の皆さまに更なる勇気や元気を宿すような「心の復興」にも意を用いながら、「明るく元気ないわき市」の創造を目指して、全身全霊をかけて取り組んで参りますので、市民の皆さまの、より一層のご支援とご協力をお願いいたします。